

# こどものまど



公益社団法人日本仏教保育協会 生命尊重の保育推進運動  
「こどものくに」公益社団法人日本仏教保育協会／編

ほとけの子 今日も一日 元気よく



今月のねらい

## 持戒和合

編集委員 高輪真澄

私は「和」という言葉が好きです。漢字辞典を見てみると、やわらぐ、あたたか、のどか、おたやか、なごむ、なぎ、日本、加算の意、などが見られます。

今から約一三〇年前、聖徳太子は「十七条の憲法」の中で「和をもって貴しとなす」といわれました。当時、戦乱の中、朝廷内で争いが起こっていたそうです。その中で太子は平和な世の中を目指したそうです。

でも「和」を作り上げるには大変な苦勞が必要です。みんなの話を聞き、みんなの思いを知り、みんなの合意できる方向を探さなければなりません。その上でみんなが安らぎつつ、仲良く、平和で幸せな世界ができるのです。

持戒和合（ルールを守って仲良くすること）、これはバラバラな私たちにとって、大変難しいけれども、みんなで力を合わせ、実現していきたい目標です。

# こどものまど



公益社団法人日本仏教保育協会 生命尊重の保育推進運動  
「こどものくに」公益社団法人日本仏教保育協会／編

ほとけの子 今日も一日 元気よく



今月のねらい

## 自利利他

編集委員 高輪真澄

「人のお世話にならぬよう、人のお世話をするよう、そしてむくいを求めぬよう」

これは関東大震災当時、東京市長をされ、ポインスカウト日本連盟の初代総長を務められた後藤新平さんの言葉です。奉仕の精神を説いたものとして有名です。まず自分から努力してよき社会人になり（自利）、他人を助けていくこと（利他）

は仏教にも通じる言葉です。自利、利他両面を兼ね備えることが、仏教の理想とされています。

でもこれは、簡単にできることではありません。自ら努力し、周りを思いやり、みんなを助ける心を持つことは、大人になつてからでは大変難しいことです。このような心は、子どもの頃からのしつけや教育によって育てられていくものなのです。

まずこの夏休み、子どもたちにお手伝いをしてもらうことから始めていきましょう。

